

JANSI Annual Conference 2019 ご意見、ご質問への回答、見解について

カンファレンス開催時にアンケート用紙等にご記入いただいた、ご意見、ご質問に対するJANSIの回答、見解などを以下のとおり掲載いたします。

なお、運営事項等に関する内容は割愛させていただきました。今後の参考とさせていただきます、引き続き、カンファレンスの内容の一層の充実に努めてまいります。

区分	ご意見・ご質問内容	JANSI（または登壇者）の回答・見解
基調講演		
ご質問	「現場主体の自律的な活動」といった話がありましたが、もう少し具体的にどのような活動をイメージされているのか教えて頂けませんでしょうか。	ご質問ありがとうございました。電気事業連合会様より、以下のとおりご回答をいただいております。 これまで、リスク低減に向け、現場にて地震・津波対策といった設備対策の強化や、現場対応力の強化を図っています。それでも残るリスクに対し、リスクはゼロにならないという考えに基づき、規制基準を満たすことに留まらず、事業者の一義的責任のもと、リスクを効果的に管理していく枠組みとして、リスク情報を活用した意思決定（RIDM）に取り組んでいます。具体的には、技術基盤、プロセス、そして人材を基礎として、1. パフォーマンス監視・評価、2. リスク評価、3. 意思決定、4. 是正処置プログラム、そして5. コンフィグレーション管理の5つの機能をしっかり構築していく取り組みを進めています。
ご意見	リスクマネジメント強化に向けた具体的な活動を示して欲しかった。例えば、エクセレンスの例とこれに近づけるための具体的な活動など。	ご意見ありがとうございました。電気事業連合会様より、以下のとおりご回答をいただいております。 事業者は、リスクマネジメントシステムの構築に向けて、JANSIが策定したガイドラインに基づき、既存のQMS体系にリスクマネジメントを取り込んで、各主要業務の中に具体的な活動として落とし込むという作業を進めています。 また、事業者は、「リスク情報活用の実現に向けた戦略プラン及びアクションプラン」を策定し、NRRCの支援のもと、活動を進めています。
セッション「組織マネジメントの実効性向上と安全文化醸成に係る戦略－産業界およびJANSIの活動と今後の展開－」		
ご意見	高野座長のコーディネーションがとてもよかった。パネラーの選定も適切であった。	ご意見ありがとうございました。 JANSIと致しましては、今後とも皆様のご期待に応えられるよう、カンファレンスについて、テーマや登壇者の選定を含む適切な企画と円滑な運営により、一層の内容の充実に努めてまいります。
ご意見	パネルディスカッションのテーマがわかりにくかった。	ご意見ありがとうございました。 パネルディスカッションテーマに関するご指摘につきましては、ご意見として承り、よりよいカンファレンスの企画・運営に活かすよう努めてまいります。
ご意見	航空業界井上さんの事例の紹介が印象に残りました。（説得力があると感じました）	ご意見ありがとうございました。 JANSIと致しましては、今後とも皆様のご期待に応えられるよう、カンファレンスについて、テーマや登壇者の選定を含む適切な企画と円滑な運営により、一層の内容の充実に努めてまいります。
ご質問	航空機操縦士協会井上様へのご質問 ・ I C A O の S M M では、インシデント報告を重視しているが、事故の未然防止に一番有効だからか？ ・ S a f e t y - I と S a f e t y - I I ではどちらが効果的か？	ご質問ありがとうございました。以下の通りご回答をいただいております。 Safety I は不具合事象の要因を明らかにし、その原因を取り除いたり影響を低減することにより達成される安全を言っています。事故や重大インシデントなどの調査を行い再発の防止を行うものです。一方、Safety II は物事がうまくいくことを確実にすることによって安全を達成するとするものです。どちらが効果的かというご質問ですが、現在の航空の安全の状況を見たときに、事故等が減少しているとはいえ発生した不具合事象の原因を明らかにし再発を防止することが必要な事例はまだまだ数多く発生しています。従来の安全性向上への取り組みを引き続き継続するとともにSafety II の視点も持ちつつ全体を見ていくことが必要だと思えます。 報告の中でも自発報告の多くは当事者のみが経験したハザードやエラーなどを報告するもので、結果として事故や重大なインシデントに至る前段階のもので、当該者の対応により結果としてノーマル運航という形で終了しているものです。したがって報告等から安全にとり障害になるものが明らかになり除去・低減をすることにより事故の未然防止につながるようになります。

<p>ご質問</p>	<p>保安力向上センター 若倉様へのご質問 保安力評価を各社はどのように自社の安全性向上に活用していますか？</p>	<p>ご質問ありがとうございました。以下のとおりご回答をいただいております。</p> <p>保安力評価を受審した各社の活用としては以下の対応が多いようです。</p> <p>①安全文化、安全基盤の指摘事項を事業所内部（会社によっては本社の環境安全部門も交え）で検討し、改善すべき項目の重み付けをした上で中期計画に反映する。</p> <p>②指摘された事項について他事業所、他の部所への水平展開を図る。</p> <p>③改善の進め方について会員間の情報共有（保安力向上センターとして支援会員間の定期的な情報共有の場を提供している）。</p> <p>④センターの提供する良好事例集に基づいて改善を試行。</p> <p>⑤改善結果の把握のため定期的な保安力評価（第三者評価）実施を社内規定で定めている。</p> <p>また、保安力評価の定着のための仕組みとして、以下のような取り組み例もあります。</p> <p>①各課に自主的な保安力評価をバックアップできる人材を育成/配置（化学日報工業社の保安力評価人材育成講座の活用を含む）</p> <p>②センター評価結果を活用し、系列会社の保安力の自主的な評価を推進。</p>
<p>ご質問</p>	<p>東北電力原田様への質問 レジリエンスと安全文化は東北電力の原子力部門ではどのように関係づけられていますか？</p>	<p>ご質問ありがとうございました。以下の通りご回答をいただいております。</p> <p>レジリエンス能力の向上に必要な4つの”ちから”，”学ぶ”ちから，”対応する”ちから，”把握する”ちから，”予見する”ちからを強化することが発電所の安全性向上に必要なことだと考えています。これらの”ちから”の向上には、安全文化の観点で、良好なコミュニケーションや強力なリーダーシップといったノンテクニカルスキルが欠かせないものとなっています。レジリエンス能力向上には、安全文化が醸成された姿が基礎となっているものです。</p>
<p>ご質問</p>	<p>東京電力ホールディングス小野様へのご質問 いろいろな情報や事象が入ってきた際に、管理層はそれを真実だと思い受け入れてしまうが、殆どは真実であると言いはない。東京電力ホールディングス殿では、表面的な情報から真実を読み取るためのクリティカルシンキングのテクニックを管理層がどのように指導していますか。</p>	<p>ご質問ありがとうございました。以下の通りご回答をいただいております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力部門全体では、スピーチでもご紹介しましたように、安全文化を体現したふるまいとして、Traitsを定め、QA（問いかける姿勢）など、クリティカルシンキングを促しています。 ・その具体的手段の一つにいわゆるカイゼン活動があります。ここでは、現状の業務と「あるべき姿」の間のギャップを問題点と捉え、それを解消するために「なぜなぜ分析」という手法、すなわち問題点の第一要因、第二要因、第三要因、・・・というように「なぜ、なぜ」を繰り返す方法により、真の原因にたどりつこうとします。従って、ここから生まれる対策は表面的、対症的なものではなく、より根本的なものになります。各組織ごとにカイゼンに関わるリーダーがおり、彼らのリーダーシップの下、各グループが通年でカイゼン活動に取り組んでいます。 ・なお、逆に情報を正しく伝えるということにも取り組んでいます。例えば、私の所管である福島第一廃炉推進カンパニーの広報部門（廃炉コミュニケーションセンター）には、プレスリリース作成の際、社内の複数箇所から関連情報を収集することによって伝える内容を正確かつ具体的なものとするよう指導しています。その一環として、毎週定例で開催している記者会見も、昨年6月以降、会見場を富岡町内から福島第一に移転し、各所からの情報収集を行いやすくしました。また、発表した内容とその後のメディアの反響や報道状況等は全管理職を対象にタイムリーにフィードバックしており、社会が知りたい事実は何であるかをしっかりと確認するよう社員に意識づけを行い、「伝わる広報」の実践につなげています。
<p>ご意見</p>	<p>山崎理事長のピーチボトムのお話は貴重なお話だったと思います。CAPはライバルが居るとお互い成長してパフォーマンスが良くなるという効果に似ているのではないのでしょうか。「CAPパフォーマンス向上」はyesですが、「CAP安全文化向上」は少し違うように思います。そういう意味で「文化とは」どういうもので今回はそういうものについて話すというパネリスト間でのイメージ合わせが必要だったかもしれません。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>今回のアニュアルカンファレンスでは、JANSIが事業者の課題のひとつとして認識している「規制要求に満足するだけでなく、自らが潜在リスクを見直し、問いかけ、学ぶという姿勢の強化は継続しているか？」を抽出し、その課題への対応策のひとつとしてJANSIが10年戦略で行うとしている「適切なCAPの定着を支援」を挙げました。事業者はCAPを行うことで、リスクを見直し、問いかけることが可能となる側面があると思っています。また、CAPは、実施する中で報告する文化が醸成されることがあり、そういう点からも安全文化と繋がりがあがる活動であると考えています。</p>
<p>ご意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電力会社の現場はコストダウン、要員不足で手一杯。そこの関係性をもう少し深掘りしてほしかった。特にJANSIのプレゼンはきれいごとの物足りず。 ・井上氏と小野氏の発言は現場に基づくものでとても興味深かった。 ・CAPが強調されていたが、OEも過去の経験の振り返りというイギがあり、もう少し重要性を語ってほしかった。 	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスの企画・運営の参考とさせていただき、一層の内容の充実・改善に努めてまいります。</p>
<p>ご意見</p>	<p>実際の現場での安全に対する意識が大変参考になった。率先して現場を見て、協力会社とコミュニケーションを取るここの本気度をいかに見せるかが大事と感じた。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスの企画・運営の参考とさせていただき、一層の内容の充実に努めてまいります。</p>

ご意見	議論の時間は短いものだったが、多くの示唆を得ることができた。当社の安全文化醸成活動に活かしていきたい。	ご意見ありがとうございました。 JANSIと致しましては、今後とも、皆様のご期待に応えられるパネル討論テーマや登壇者の選定、時間配分等、適切な企画と円滑な運営により、カンファレンスの一層の内容の充実に努めてまいります。
ご意見	2011年以前から安全文化として語られる内容が変わっていないと思う。何故安全文化のためにJANSIなどありながら、1Fの事故が発生したかの考察をもっと深めて行って頂きたかった。	ご意見ありがとうございました。 安全文化に対し組織を挙げて取り組んでいくことの重要性は、以前から指摘がなされ対応も行われてきましたが、こうした中で、福島第一事故が発生いたしました。福島第一事故は、安全神話への思い込みや外部から学ぶことの重要性の希薄化が大きな要因の一つとなっており、安全文化との深い関りが指摘されております。今回のカンファレンスでは、こうした問題意識から、皆様に安全文化醸成の必要性への理解を一層深めていただくと共にその実現へ向けた対応の推進に資するよう、テーマの中で安全文化を取り上げました。 なお、JANSIは、平成23年の福島第一事故後、前述の安全文化上の問題も含めその深い反省に立ち、このような事故を二度と起こさないために、平成24年に個々の事業者からの独立性を有し発電所停止勧告等の強い権限を持った自主規制組織として設立され、活動を開始致しました。JANSI事業の中では、安全文化の重要性に着目し、安全性向上評価や事業者支援の中で安全文化に係る様々な取り組みを展開しております。この中には、福島第一事故の報告書および福島第二の報告書も含め、その中から安全文化を含む様々な教訓をJANSIが抽出して事業者の皆様へ提供し、その教訓の反映状況をJANSIがレビューするという活動も含まれます。
ご意見	・安全文化構成←形どおりの仕立てであり、目新しいものが無かった。 安全管理⇒command形からビジョン型への移行（進化）の具体的方法として失敗⇒恥=財産として社会に共有、公開する方法有。米国の"SCB (safety channel brand)"のように事故原因のみならず、"対応の失敗"を公的に公開、共有すべき。	ご意見ありがとうございました。 現在、国内のトラブル情報に関しては、事業者が互いに情報共有できるNUCIAという公開されたシステムに、それぞれが自主的に登録することになっています。内容は、原因だけではなくトラブル事象の時間的な推移も記載することとしていますので、トラブルへの対応プロセスについても公開され情報共有されています。
ご意見	現場の安全文化促進に対するモチベーションの醸成についての考え方、道筋が見えない。	ご意見ありがとうございました。 いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスの企画・運営の参考とさせていただきます、一層の内容の充実・改善に努めてまいります。
ご意見	海外の活動として、NEAの報告があったが、米国やフランスの活動も知りたい。	ご意見ありがとうございました。 いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスの企画・運営の参考とさせていただきます、一層の内容の充実に努めてまいります。
ご意見	規制と事業者の役割分担はあるが共に原子力安全を目指す者として協力していくことを世間一般にもって示すことが重要である。今回の討論で出た有意義な意見を広く世間に周知する工夫が必要である。	ご意見ありがとうございました。 いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスの企画・運営の参考とさせていただきます、一層の内容の充実に努めてまいります。また、パネル討論を含め今回のカンファレンスの概要につきましては、会員HPと共に一般HPにおいても公開することとしており、本年も準備が整い次第掲載する予定です。
その他		
ご意見	勝野会長の講演内容として、マネジメント強化の取り組みや、産業界組織の役割などに力点を置いた内容となっていたが、次はこれらの活動がどのように現場のパフォーマンス向上、リスク低減につながっているのか、成果にフォーカスしてアピールして頂くのが良いと感じました。	ご意見ありがとうございました。 いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスのテーマや登壇者を選定していく上での参考とさせていただきます、一層の内容の充実に努めてまいります。
ご意見	他業界のお話は本当におもしろかったです。「文化」ということでは歴史で「文化」をご研究されている人もいます。そういった原子力とは違う人からのお話も聞けるとありがたいと思います。	ご意見ありがとうございました。 いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスのテーマや登壇者を選定していく上での参考とさせていただきます、一層の内容の充実に努めてまいります。
ご意見	原子力安全で一番重要となるのは、topから一般社員に至る全ての人の意識改革であると考えます。この意識改革をどうしたら達成できるのが最大の課題であると考えています。この辺の答えが今回の会議で具体的に見えてこなかったと思います。この答えの一つ代表されるのはJALでの意識改革であったのではないかと思います。こう云った深い議論を拝聴したかったです。	ご意見ありがとうございました。 いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスの企画・運営の参考にさせていただきます、一層の内容の充実・改善に努めてまいります。
ご意見	安全文化を実際に醸成させるのは現場の作業員の方々だと思います（廃炉の場合、発電所の場合）。従って、もう少し日本語を用いた習慣にし、誰でも分かる内容にすべきだと思います。	ご意見ありがとうございました。 いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスの企画や運営を行っていく際の参考とさせていただきます、一層の内容の充実・改善に努めてまいります。
ご質問	今後、PRAによりリスクを定量化し、リスクを共通言語とするとのことですが、社会への対応として、どのような取り組みを今後していくのか教えて欲しい。	ご質問ありがとうございました。 JANSIは事業者のリスクマネジメントの浸透の支援をしています。この活動は社会との連携等を意図したものではなく、あくまでも事業者自身の自主的安全性向上活動の支援を目的としたものです。ここでいう共通言語とは、同じ活動を行う他の組織、例えばNRRCや規制庁と事業者がリスクという共通の言語で安全性を語るができるということを表しています。

ご意見	規制と事業者の相互信頼向上の為の方策を皆で議論する場があってもよいと思う。（これはATENAの業務かもしれないが）	ご意見ありがとうございました。 JANSIと致しましては、エクセレンスを追及し自主規制組織としての対応を積み重ねていくことが、規制とのよい形での相乗効果をもたらし、事業者の皆様の原子力安全性向上の実現に繋がると認識しております。こうした中、カンファレンスについて、今後ともパネル討論のテーマ設定も含め適切な企画および運営に努めてまいります。
ご意見	JANSIによりリスクマネジメント体制整備支援及び本店を含むレビューについて期待をしています。	ご意見ありがとうございました。 ご期待に沿うことができるよう、JANSIと致しましては、これからも、リスクマネジメントに係る支援活動やレビュー等を含む事業活動を適切に展開してまいります。
ご意見	JANSIの説明は、実体が見えないので理解できなかった。具体化、あるいは数値化しては？正直、JANSIの役割が理解できなかった。	ご意見ありがとうございました。 JANSIの役割や活動をご理解いただくためにも、ご指摘を踏まえ、カンファレンスにおいて可能な事項については具体例や数値を効果的に活用する等一層分かり易い説明に努めてまいります。
ご意見	再稼働している電力会社からの発表等もあるとよい。	ご意見ありがとうございました。 いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスのテーマや登壇者を選定していく上での参考とさせていただき、一層の内容の充実に努めてまいります。
ご意見	原子力が特別だという考えがおかしいのでは？	ご意見ありがとうございました。 ご趣旨は、カンファレンスにおいて、他産業や海外の視点をもっと取り入れるべきとの内容と理解しております。今後のカンファレンスの企画・運営の参考とさせていただき、引き続き、他産業や海外の有識者にご登壇いただくことを検討する等、一層の内容の充実に努めてまいります。
ご意見	安全文化構成に係る活動については、電力会社、他業界だけではなく、プラントメーカーからもパネリストとして参加することを検討下さい。	ご意見ありがとうございました。 いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスのテーマや登壇者を選定していく上での参考とさせていただき、一層の内容の充実に努めてまいります。
ご意見	今回は海外の専門家のスピーチが少なかったでしょうか。是非複数の海外の専門家を参加させて欲しいと思います。そういう機会が多くない人もおられると思います。	ご意見ありがとうございました。 いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスのテーマや登壇者を選定していく上での参考とさせていただき、一層の内容の充実に努めてまいりたいと存じます。
ご意見	関係者中心のカンファレンスとしては、切り込みが浅いのではないか。この内容なのであれば、一般の方々の参加を検討すべきではないか。	ご意見ありがとうございました。 いただいたご意見につきましては、今後のカンファレンスのテーマや登壇者を選定していく上での参考とさせていただき、一層の内容の充実に努めてまいります。

以上